水道事業ビジョン取組状況

令和8年3月31日現在

本ビジョンの施策		具体的な方策	R7取組状況
安全	安全な給水の確保		
(1)	水質管理の拡充	①水質検査計画に基づいた水質検査の継続 ②計器類(濁度計・残塩計)の整備	①水質検査計画に基づき実施、結果公表 ②粟原・石風呂地区の濁度計等の整備は、R3に整備完了。残塩計が設置されていない家山・身成地区は、R9以降実施予定
(2)	水安全計画の策定	①水安全計画の策定と運用	①策定済
(3)	貯水槽管理の強化	①貯水槽管理に関する情報提供の強化 ②貯水槽管理マニュアルの作成・配布	①ホームページによる情報提供 ②R4作成済
(4)	給水装置管理の適正化	①指定給水装置工事事業者に向けた指導内容の検討	①事業者更新時に申請及び施工時の注意点を通知
(5)	鉛製給水管解消への取り組みの強化	①鉛製給水管布設状況の調査 ②鉛製給水管解消に向けた対策の検討 ③鉛製給水管に関する情報提供の強化	①検満交換時調査 ②検満交換時における接点を活用し周知徹底を行う ③指定工事店への周知、市民配付チラシ裏面に情報記載
強靭	より安定した施設の構築・災害対策の推進		
(1)	老朽施設・老朽管路の計画的な更新	①老朽施設の更新 ②老朽管路の更新	①天神原配水池・神座配水池・抜里配水池・犬間配水池更新済 ②老朽管路更新(基幹管路を優先的に更新中) R7　1,560m更新
(2)	施設・管路の耐震化	①配水池及び地下水源施設の耐震化 ②管路の耐震化	
(3)	応急給水・応急復旧体制の強化	①BCPの策定とBCPに基づいた職員訓練の実施 ②資機材の確保 ③利用者参加型応急給水訓練の実施 ④災害用飲料水の確保に向けた広報 ⑤周辺事業体との連携の強化	①県、企業団訓練参加、市単独訓練の実施 ②非常用給水袋の備蓄、R7年度購入 ③- ④各戸配付チラシを通じた広報活動 ⑤近隣水道事業者と情報交換(日水協県支部主催)
(4)	渇水対策の強化	①渇水対策マニュアルの運用と見直し ②地下水源の定期的な維持管理	①渇水対策マニュアルを廃止し、危機管理マニュアルに統一済 ②計画的な井戸浚渫を実施中
(5)	停電対策の強化	①自家用発電設備燃料の確保 ②可搬式自家用発電設備の配置検討	①全15設備では、常時、燃料をタンク容量の100%維持 ②重要施設には整備済み
持続	施設の効率的な整備・運用・経営の健全化		
(1)	水需要に合わせた施設のダウンサイジング	①今後の水需要に合わせた施設能力の検討	①島田市水道事業基本計画策定済(R2)
(2)	施設管理体制の効率化	①施設台帳システムによる管理の実施	①R3年度施設台帳作成済
(3)	漏水対策の強化	①漏水調査の実施 ②老朽管の更新	①職員による漏水調査を24回/年実施
(4)	事業の統合に向けた取り組み	①簡易水道の上水道への事業統合に向けた整備	①令和元年度末経営統合及び認可完了 抜里水源、犬間配水池整備済
(5)	近隣水道事業者との広域連携に向けた取り組み	①広域連携に向けた協議への参加 ②周辺事業体との将来的な統合に向けた検討	①県主催の水道事業広域化検討会に参加 ②大井川圏域の意見交換会に参加
(6)	アセットマネジメント及び経営戦略を踏まえた財源の確保	①アセットマネジメント及び経営戦略の運用と見直し ②適正な水道料金の検討	①R8、R9の2か年で経営戦略の改定を行う。 ②R6、R7の2か年で計5回の水道料金等審議会を開催。 R8.2月議会にて条例改正を行い、R9.4から料金改定予定
(7)	業務の効率化	①業務委託内容の見直し ②業務のマニュアル化	①令和7年10月からの契約更新に合わせ、委託内容の見直しを行い、新契約にて運用を行っている。 ②業務ごとのマニュアルを整備
(8)	技術力の確保と継承	①OJTの実施 ②外部研修への参加 ③外部委託を活用した技術力の確保 ④大井上水道企業団との人事交流の検討	危機管理マニュアル、水道BCPを用いての訓練を実施 外部研修会参加他
(9)	広報・広聴の充実	①「広報しまだ」や水道独自の広報紙による情報の発信 ②浄水場見学や浄水講座の実施 ③広聴活動の実施	①「広報しまだ」に掲載(水道修理休日当番、決算・予算等) 利用者に対するチラシの各戸配付(8月、9月) ②ふれあい島田塾(「水のおはなし」)0件実施 ③計画等の見直し時に実施予定(令和6年度の実施なし)
(10)	環境に配慮した設備選定及び事業の実施	①エコアクション21の実施 ②浄水発生土・建設発生土の有効利用 ③高効率機器の導入	①エコアクション21実施 ②浄水発生土、建設発生土の有効利用100% ③未実施

1-(1) 水質管理の拡充　P35

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	水質検査計画に基づいた水質検査の継続									
	計器類（濁度計・残塩計）の整備									
	粟原・石風呂									

実施内容
水質検査計画は毎年度ごと結果に基づき見直し更新 水質検査計画に基づき検査実施、結果公表
粟原と石風呂地区の濁度計等の整備は、令和3年度に整備を完了した。また、残塩計が設置されていない家山と身成地区については、令和9年度以降に実施する予定。

数値目標	指標の名称	単位	現況	目標値	
			2015	2022	2027
	・水質基準不適合率 =(水質基準不適合回数÷全検査回数)×100	(%)	0	0	0
	・簡易水道における水質監視体制の整備数 =簡易水道における水質の24時間監視実施施設数	(箇所)	11	14	14

実施内容
水質基準項目については不適合回数0回
令和2年度に小川と中平地区が施設統合された。令和3年度に粟原と石風呂地区の整備が完了し、水質監視体制の整備数は12か所となり、残りの家山と身成地区を令和9年度以降に整備する予定である。

1-(2) 水安全計画の策定　P35

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	水安全計画の策定と運用									
	地下水源編の作成	浄水場	その他簡易水道ごとに順次策定、見直							

実施内容
R4策定済

1-(3) 貯水槽管理の強化　P37

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	貯水槽管理に関する情報提供の強化									
	貯水槽管理マニュアルの作成・配布									

実施内容
島田市ホームページに掲載
R5.2に作成し、R5.4から配布

1-(4) 給水装置管理の適正化 P38

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	指定給水装置工事事業者に向けた指導内容の検討									
	→									

実施内容
令和2年度に新指針を策定し運用中

1-(5) 鉛製給水管解消への取組の強化 P39

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	鉛製給水管布設状況の調査									
	60.4%	68.3%	76.3%	84.2%	92.1%	100%				
	→									
							鉛製給水管解消に向けた対策の検討			
							→			
	鉛製給水管に関する情報提供の強化									
	→									

実施内容
量水器検定満期交換時に調査
検満交換時における接点を活用し周知徹底を行う
指定工事店への周知、市民配付チラシに情報記載

数値目標	指標の名称	単位	現況	目標値	
			2015	2022	2027
	・鉛製給水管布設件数の調査率 = 鉛製給水管布設調査を行った件数÷量水器の設置件数×100	(%)	44.6	92.1	100
	・鉛製給水管布設替え件数 =一年間で鉛製給水管の布設替えを行った件数	(件/年)	127	130	130

実施内容
調査率95.83% ※(100%－4.17%(未調査率)で算出)
改造・修繕数43件

2-(1) 老朽施設・老朽管路の計画的な更新

年次計画

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
老朽施設の更新										
天神原配水池	→	→	→	→						
抜里配水池	→	→								
小川・中平浄水場（統合新	→	→	→							
犬間配水池	→									
その他電気・機械設備									→	→
老朽管路の更新										
	3,820m	2,749m	1,745m	1,605m	2,542m	3,512m	2,360m	2,360m	4,481m	3,934m

実施内容
天神原配水池更新 R1～R3で配水池を更新済
抜里地区は、令和元年度に配水池の整備を完了した。 小川中平地区は令和元年度に浄水場の整備を実施し、令和2年度に中平の送配水管を整備した。
平成30年度に計画通り配水池を整備した。
R7年度　1,560m更新

数値目標

指標の名称	単位	現況	目標値	
		2015	2022	2027
・管路更新率 =(1年間に更新した管路の延長/管路延長)×100	(%)	0.7	100年で全て更新が完了するよう、1年あたり1%程度を目標に更新	

実施内容
(1.560/423)×100　＝　0.369　≒　0.37%
年度更新目標値を下回っている。

2-(2) 施設・管路の耐震化 P41

年次計画

2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	実施内容
配水池耐震診断										R7年度実施なし
粟原 石風呂	鵜網	鍋島 二俣								
地下水源施設の耐震化										R7年度実施工事なし
南9号水源	阪本配水池	阪本配水池建	南7号水源	初倉4号水源	南1号水源					
配水池の耐震化										神座配水池はR2、天神原配水池はR3に更新済 相賀配水池はR4に耐震診断を実施済
神座 相賀										
基幹管路の耐震化										基幹管路(送水管)479.2m更新
簡易水道地区の管路の耐震化										給水人口の多い家山地区から計画的に配水管の耐震化を実施している。H28 169.5m H29 171.7m H30 175.7m R1 431.4m R2 162.7m R3 233.0m R4 190.3m R5 163.2m R6 153.7m R7 199.1m
15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	25,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	
		島田市民病院周辺管路の布設								R4年度完成
		400m	200m							

数値目標

指標の名称	単位	現況	目標値		実施内容
		2015	2022	2027	
・配水池の耐震化率 =(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量)×100	(%)	93.6	98.4	98.6	主要な配水池は耐震性を確保している R7年度末 (19,642/20,402)×100 =96.3%
・管路の耐震管率(D-GX,D-NS,鋼管-溶接,SUS-溶接,HPPE,WEETが耐震管) =(耐震管延長/管路延長)×100	(%)	9.7	12.5	17.6	R7年度末(88,191.8/423,318.7)×100 =20.8%
・重要給水施設配水管路の耐震適合管率(D-GX,D-NS,D-K,鋼管-溶接,SUS-溶接,HPPE,WEETが耐震適合管) =(重要給水施設配水管路のうち耐震適合管延長/重要給水施設管路延長)×100	(%)	24.6	26.7	41.5	R7年度末(17,495/42,379)×100=41.3%
・基幹管路の耐震管率(D-GX,D-NS,鋼管-溶接,SUS-溶接,HPPE,WEETが耐震管) =(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長)×100	(%)	12.9	13.3	14.1	R7年度末(11,615.7/34,122.1)×100=34.0%

2-(3) 応急給水・応急復旧対策の強化　P43

年次計画

2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	実施内容
		BCPの策定とBCPに基づいた職員訓練の実施								R2水道BCP策定済
		BCP策定 →	BCPに基づいた職員訓練の実施							机上・実地訓練を実施
資機材の確保										非常用給水袋の備蓄、R7年度購入
利用者参加型応急給水訓練の実施										R4年度　静岡県総合防災訓練実施（給水車両による配水）
災害用飲料水の確保に向けた広報										利用者に対するチラシの各戸配付（8月、9月）
周辺事業体との連携の強化										近隣水道事業者と情報交換（日水協県支部主催）

数値目標

指標の名称	単位	現況	目標値		実施内容
		2015	2022	2027	
・災害対策訓練実施回数 =1年間に災害対策訓練を実施した回数	（回/年）	1	1	1	R7.6月に実施

2-(4) 渇水対策の強化　P45

年次計画

2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	実施内容
渇水対策マニュアルの運用と見直し										危機管理マニュアルに含めたため、R元年度末に廃止
地下水源の定期的な維持管理										令和3年度に井戸の浚渫工事の実施計画を策定 令和4年度から工事を実施

2-(5) 停電対策の強化 P46

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	自家用発電設備燃料の確保 →									
	可搬式自家用発電設備の配置検討 →									

数値目標	指標の名称	単位	現況	目標値	
			2015	2022	2027
	・燃料備蓄日数 =平均燃料貯蔵量÷一日燃料使用量	（日）	0.5	0.5	0.5

実施内容
全15設備では、常時、燃料をタンク容量の100%に維持している。
未実施

実施内容
R7.3.31現在、全15設備中の6設備で、燃料備蓄日数は0.5日を達成している。

3-(1) 水需要にあわせた施設のダウンサイジング　P47

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	今後の水需要に合わせた施設能力の検討									
				見直し・検討 →				見直し・検討 →		

実施内容
上水道基本計画に基づき、口径をサイズダウンして布設替工事を実施

3-(2) 施設の管理体制の効率化　P48

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	施設台帳システムによる管理の実施									
	施設台帳システムの構築 →		データ入力・管理・運用 →							

実施内容
R3年度施設台帳作成済

3-(3) 漏水対策の強化　P49

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	漏水調査の実施									
	→									
	老朽管の更新									
	→									

実施内容
R7年度　職員調査を計24回実施 5か所漏水修繕完了
R7年度　1.560m　老朽管路更新

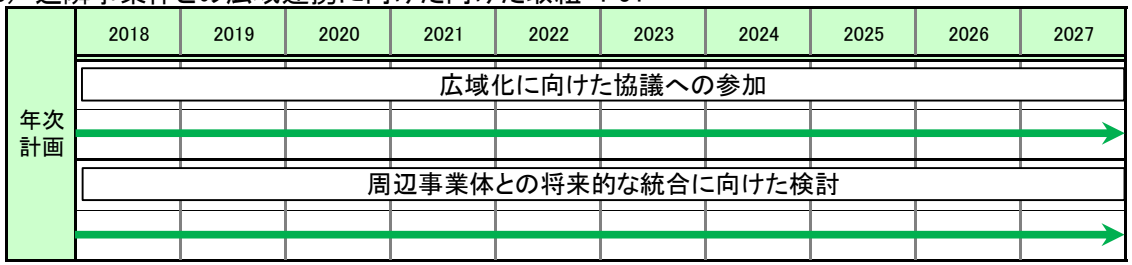
数値目標	指標の名称	単位	現況	目標値	
			2015	2022	2027
	・有効率 =(年間有効水量 / 年間配水量) × 100	(%)	89.4	89.8	90

実施内容
R7年度　73.6%

3-(4) 事業の統合に向けた取組　P50

実施内容
令和元年度末経営統合及び認可完了
施設整備を実施中

3-(5) 近隣事業体との広域連携に向けた向けた取組　P51

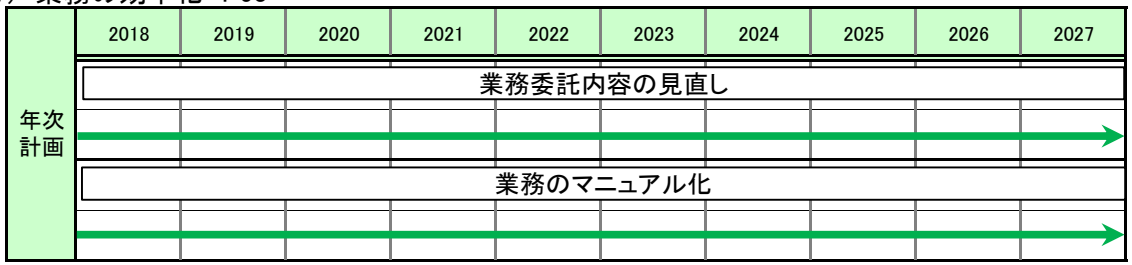


実施内容
県主催の県主催の広域検討会に参加 3市意見交換会の実施
大井川圏域の意見交換会に参加

3-(6) アセットマネジメント及び経営戦略を踏まえた財源の確保　P52

実施内容
令和8年度、9年度の2か年で経営戦略の改定を行う
令和6年度、7年度で計5回の水道料金等審議会を開催。 令和8年2議会にて、条例改正を行い、R9.4から料金改定予定。

3-(7) 業務の効率化　P53



実施内容
令和7年10月からの契約更新に合わせ、委託内容の 見直しを行い、新契約にて運用を行っている。
業務ごとのマニュアルを整備

3-(8) 技術力の確保と継承 P54

年次計画

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	実施内容
OJTの実施											新人職員向けのOJT実施
外部研修への参加											県、日本水道協会主催の研修等に参加
外部委託を活用した技術力の確保											令和7年10月からの浄水場・料金包括委託により確保
大井上水道企業団との人事交流の検討											令和7年度は実施なし

3-(9) 広報・広聴の充実 P55

年次計画

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	実施内容
「広報しまだ」や水道独自の広報紙による情報の発信											「広報しまだ」に掲載（水道修理休日当番、決算・予算等）
浄水場見学や浄水講座の実施											令和7年度は、ふれあい島田塾（「水のおはなし」）実施なし
広聴活動の実施											計画見直し時に実施予定のため、令和6年度の実施はなし

数値目標

指標の名称	単位	現況	目標値		実施内容
		2015	2022	2027	
・水道の広報紙の発行回数 =一年間に水道の広報紙を発行した回数	（回/年）	0	1	1	利用者に対するチラシの各戸配付（8月、9月）
・アンケート実施回数 =水道に関するアンケートを実施した回数	（回）	0	計画見直し時に実施		なし

3-(10) 環境に配慮した設備設定及び事業の実施 P56

年次計画

実施内容
電気使用量削減を独自目標として島田市の方針に基づく活動を行った。
令和7年度浄水発生土搬出、建設発生土の有効利用は100%。
令和7年度は、高効率機器への更新を行わなかった。

数値目標

指標の名称	単位	現況	目標値	
		2015	2022	2027
・浄水発生土・建設発生土の有効利用率 =(有効利用土量 / 浄水発生土量+建設発生土量) × 100	(%)	100	100	100

実施内容
有効利用率100%